

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	3	事例No	4	依頼者	名古屋市立楠西小学校	実施場所	名古屋市立楠西小学校
実施対象	小学5年生2クラス(48名)						
実施日時	令和4年1月20(木)9時45分~10時30分、10時50分~11時35分(2クラス合同で実施)						
テーマ	SDGsに関心を持ち、皆が幸せに暮らせる街にするにはどうしたらよいか、自分にできることを考え、行動につなげる。						

●依頼内容

総合的な学習の時間でSDGsの取り組みについて授業を実施する講師を紹介してほしい。

●講師：原 理史 氏 (中部地方 ESD 活動支援センター、中部大学国際 ESD-SDGs センター)

原氏はEPO中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方ESD活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、ESDをはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績があり、今回の依頼に適任と考えられ講師を依頼することとした。

●授業の内容

X博士の質問	はじめに、「X博士」に扮した講師からパワーポイントを使って、提示された行動が地球にやさしい(O)、やさしくない(x)、関係ない(Δ)のどれにあてはまるかを選択して回答するクイズが5問出題され、子どもたちは一人一人自分で考えて、O、Δ、xのエリアに移動して答えた。	25分
標語とポスターの作成	「自分でできる地球にやさしいこと」をテーマに、自分たちはどのような取り組みができるかを考えて標語にまとめた。続いて、クラスごとに4人程度のグループに分かれ、グループのメンバーの標語の中から一つを選び、マーカーを使って模造紙に文字やイラストを書き込み、ポスターに仕上げた。	40分 (途中20分間休憩)
ポスターの展示と投票	仕上がったポスターを体育館の壁に貼り、みんなでポスターを見て回った。その上で、「実際にやってみよう」と心動かされた内容のポスターについて選び、各自で投票した。	15分
まとめ	最後に、講師から投票結果の発表と講評が行われ、投票数の多い取り組みがよいわけではなく、すべてのグループが考えた取り組みが大切であることが強調された。また、世界中で取り組む、地球にやさしくするための17の目標・SDGsが紹介され、子どもたちに「SDGs戦士」になって、自分ができそうなことを考えてぜひ取り組んでほしいと呼びかけがされた。	10分

●授業の様子

授業は体育館で2クラス合同で行われた。X博士からの質問に、子どもたちは地球にやさしい行動(O)、やさしくない行動(x)、関係ない行動(Δ)のいずれであるかを考え、元気よくO、Δ、xのエリアに移動して答えた。ポスターづくりでは、グループで話し合い、協力しながら様々な色やイラストを使用して、分かりやすくまとめた。ポスターが掲示されると、友達同士でどのポスターのどのようなことができそうかについて意見交換しながら投票した。

「自分でできる地球にやさしいこと」を考え、標語にまとめた。



グループに分かれ、選んだ標語をもとにポスターを作成した。

